

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命



2013年3月期 第1四半期決算報告

2012年8月10日
第一生命保険株式会社

- 新契約獲得は順調に推移。国内営業職員チャンネルでは医療特約を含む主力商品の販売に注力し、銀行窓販チャンネルや海外市場においても販売を伸ばし、内外市場で保有契約年換算保険料の拡大に寄与
- 内外の金融市場は調整色を強め、運用面で一定の影響を受けたものの、ALM・内部留保蓄積・成長分野への取り組み等、中長期での収益改善に向けた施策を継続
- 内外金融市場の不透明感が払拭されることは短期的には難しいものの、好調な営業業績を維持し、運用でも機動的に対応可能と見て、2013年3月期業績予想は据え置き

第一生命

業績ハイライト

- 営業業績は、国内営業職員チャネル、銀行窓販チャネル、海外のいずれにおいても順調に推移
- 厳しい金融市場を受け運用環境が悪化、前年同期に計上した特別利益の剥落の影響等もあり、増収ながら、経常利益・当期純利益では減益

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q(a)	前年同期比	
経常収益	11,356	12,016	+659	+6%
第一生命単体	10,509	10,689	+180	+2%
経常利益	473	294	179	38%
第一生命単体	551	406	144	26%
純利益	322	111	211	66%
第一生命単体	173	225	+51	+30%

< 参考 >

13/3期 業績予想(b)	進捗率(a/b)
45,960	26%
39,880	27%
1,380	21%
1,560	26%
250	45%
440	51%

第一生命

連結主要業績

■ 有価証券評価損の拡大は超長期債への入れ替えに伴う有価証券売却益の拡大で相

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	11,356	12,016	+659
保険料等収入	8,308	8,883	+574
資産運用収益	2,213	2,506	+293
うち利息・配当金等収入	1,733	1,665	68
うち有価証券売却益	445	711	+266
うち金融派生商品収益	14	56	+41
その他経常収益	834	626	208
経常費用	10,883	11,721	+838
うち保険金等支払金	6,539	6,792	+252
うち責任準備金等繰入額	1,554	1,035	518
うち資産運用費用	656	1,767	+1,111
うち有価証券売却損	142	127	15
うち有価証券評価損	204	482	+278
うち特別勘定資産運用損	19	841	+821
うち事業費	1,114	1,088	26
経常利益	473	294	179
特別利益	235	39	196
特別損失	69	68	1
契約者配当準備金繰入額	189	177	11
税金等調整前四半期純利益	450	87	362
法人税等合計	135	9	144
少数株主損失()	8	14	6
四半期純利益	322	111	211

連結貸借対照表(要約)

(億円)

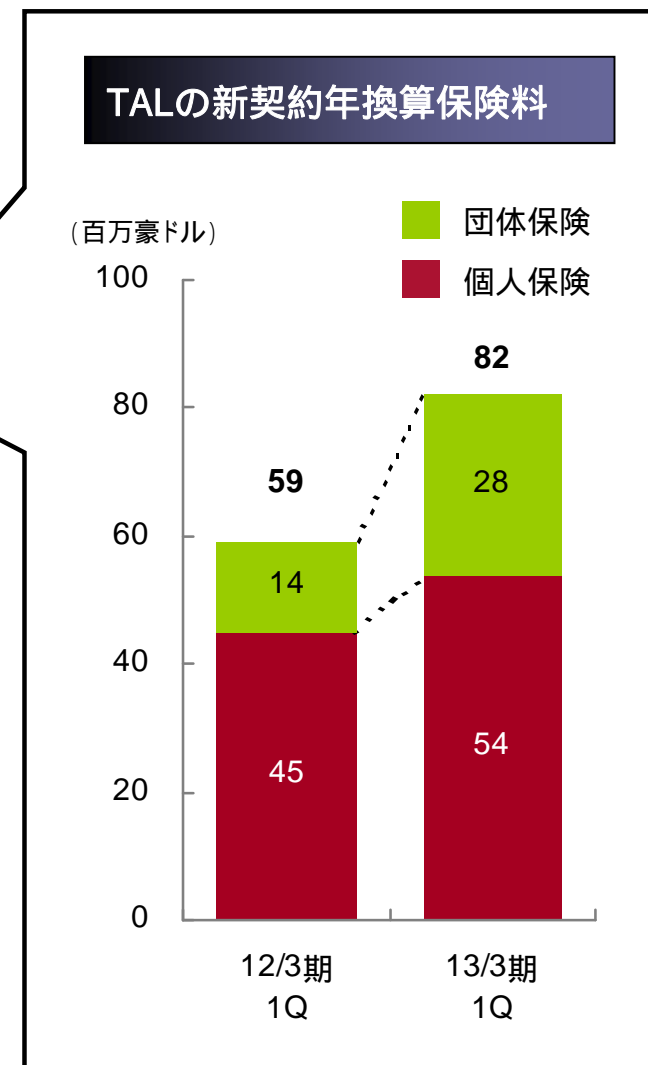
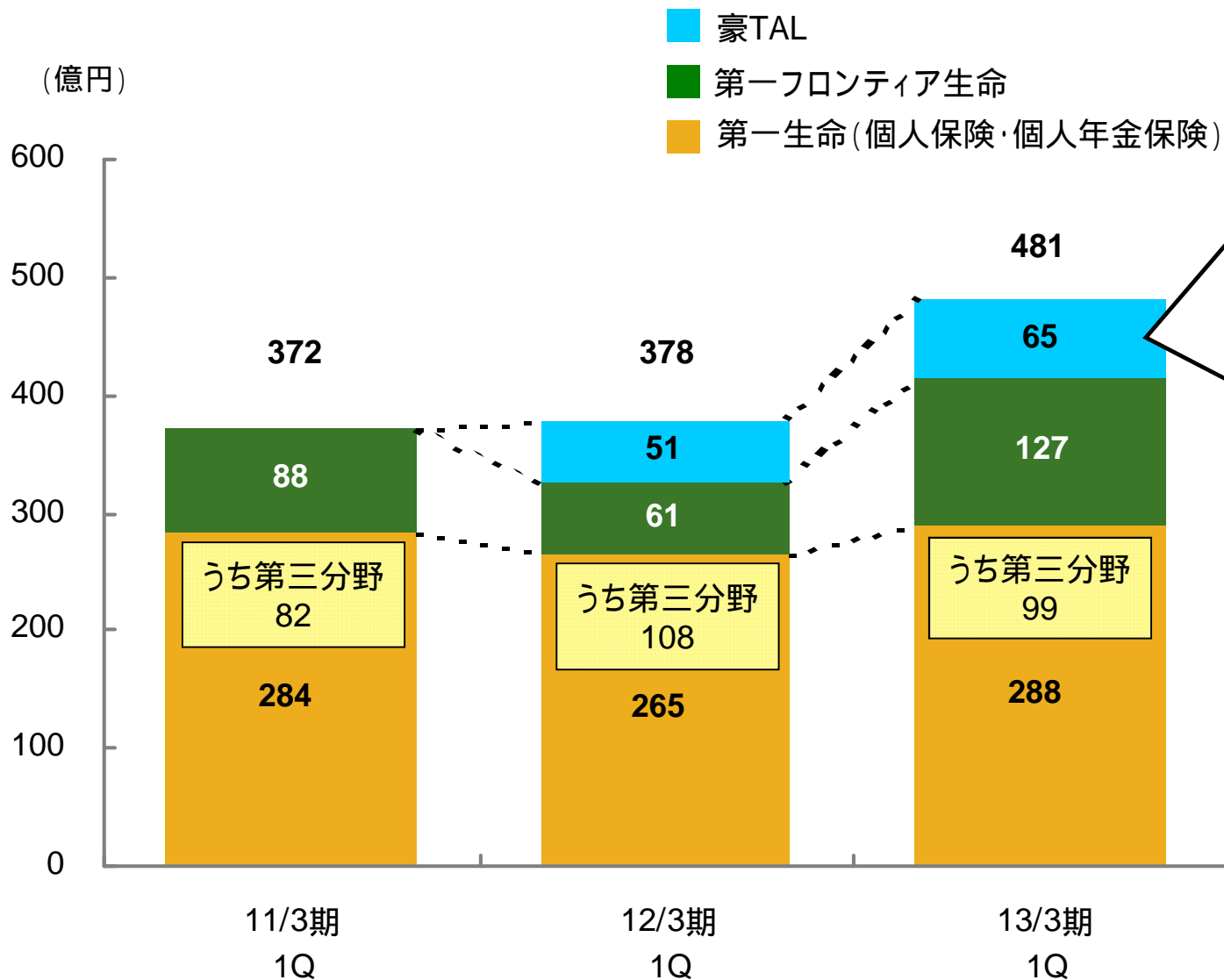
	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	334,686	332,739	1,947
うち現預金・コール	5,643	5,946	+302
うち買入金銭債権	2,943	2,933	9
うち有価証券	270,387	267,236	3,151
うち貸付金	34,136	33,318	818
うち有形固定資産	12,546	12,344	202
うち繰延税金資産	2,845	3,670	+825
負債の部合計	324,769	324,652	116
うち保険契約準備金	304,899	305,679	+780
うち責任準備金	298,627	299,590	+963
うち退職給付引当金	4,337	4,383	+45
うち価格変動準備金	748	784	+35
純資産の部合計	9,917	8,086	1,830
うち株主資本合計	5,692	5,429	262
うちその他の包括利益累計額合計	4,132	2,576	1,555
うちその他有価証券評価差額金	4,834	3,164	1,670
うち土地再評価差額金	616	396	+219

(1) 特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 ⁽¹⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年 同期比	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年 同期比	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年 同期比	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年 同期比
経常収益	10,509	10,689	+2%	585	1,067	+82%	480	574	+20%	11,356	12,016	+6%
保険料等収入	7,448	7,639	+3%	543	909	+67%	385	444	+15%	8,308	8,883	+7%
資産運用収益	2,224	2,399	+8%	41	156	+281%	5	6	+20%	2,213	2,506	+13%
経常費用	9,958	10,283	+3%	667	1,223	+83%	452	513	+13%	10,883	11,721	+8%
保険金等支払金	6,096	6,320	+4%	229	266	+16%	274	291	+6%	6,539	6,792	+4%
責任準備金等繰入額	1,227	649	47%	383	466	+22%	35	69	+97%	1,554	1,035	33%
資産運用費用	658	1,353	+105%	23	451	+1814%	16	19	+17%	656	1,767	+169%
事業費	988	955	3%	28	36	+27%	106	113	+7%	1,114	1,088	2%
経常損益	551	406	26%	81	156	--	27	60	+121%	473	294	38%
特別利益	3	39	+888%	--	--	--	--	--	--	235	39	83%
特別損失	67	67	1%	0	0	+209%	--	--	--	69	68	2%
少数株主損失()	--	--	--	--	--	--	--	--	--	8	14	+76%
四半期純損益	173	225	+30%	82	156	--	15	42	+168%	322	111	66%

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

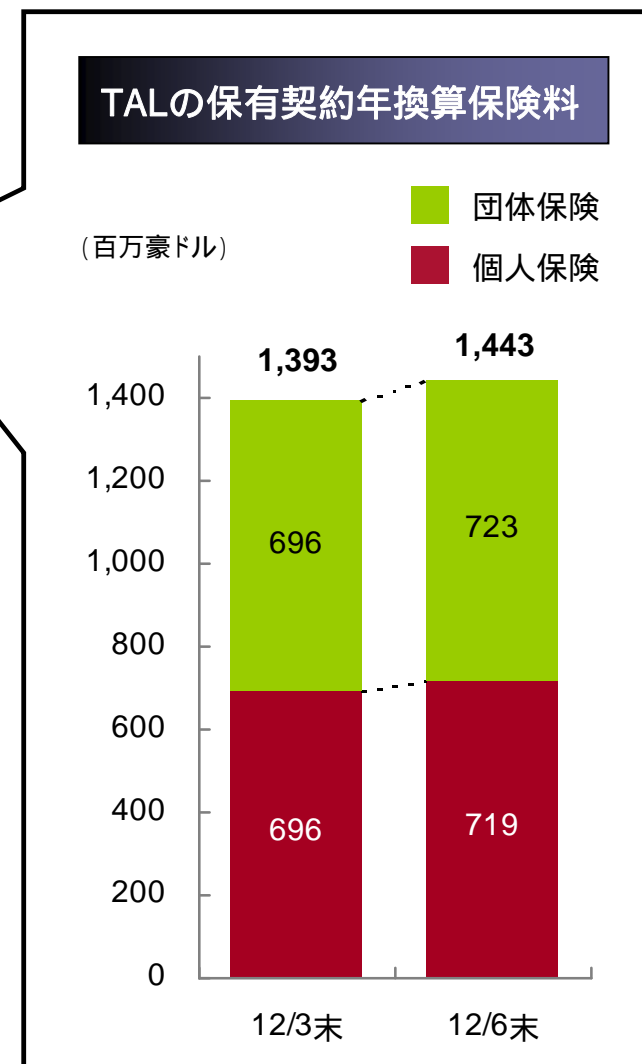
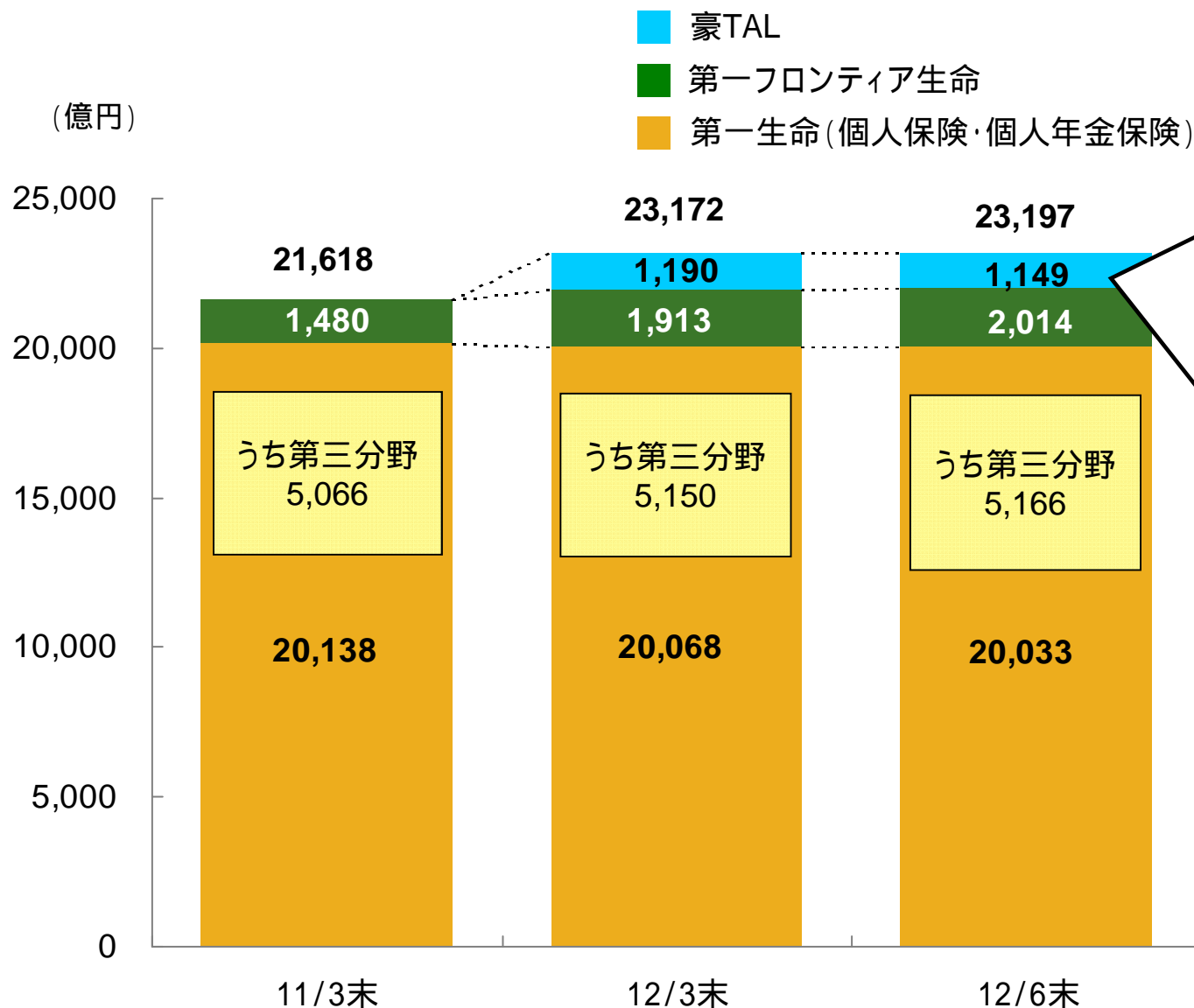
第一生命グループの新契約年換算保険料



第一生命

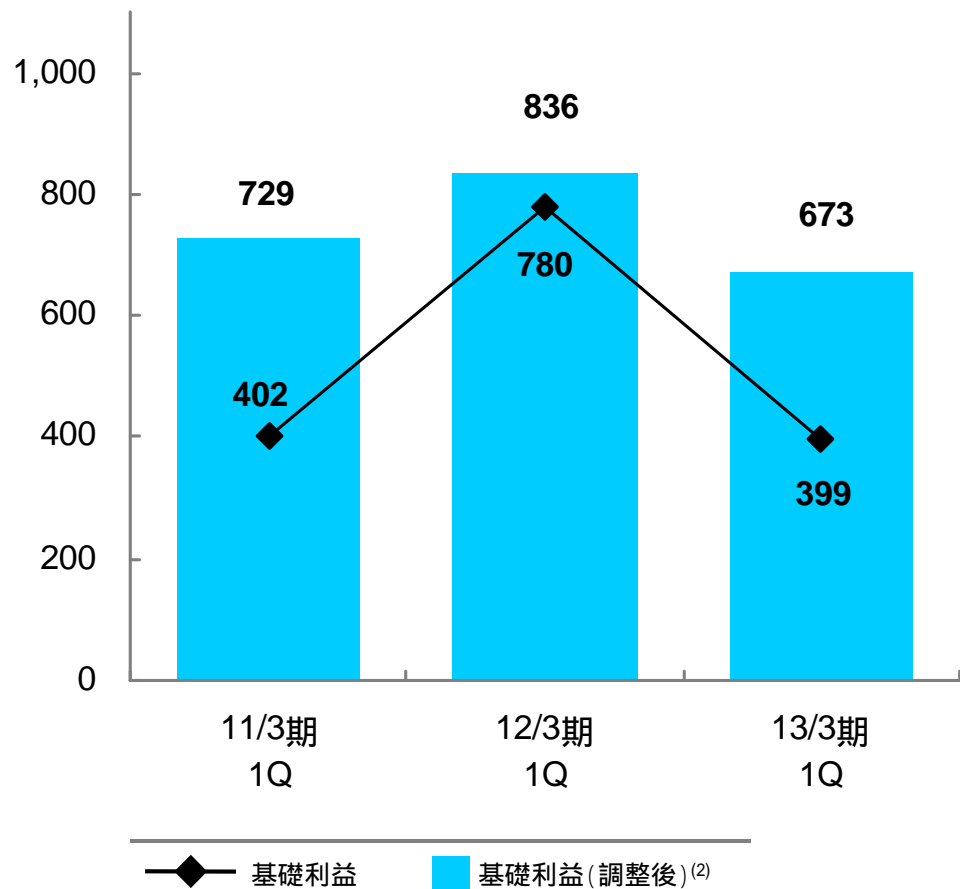
保有契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの保有契約年換算保険料



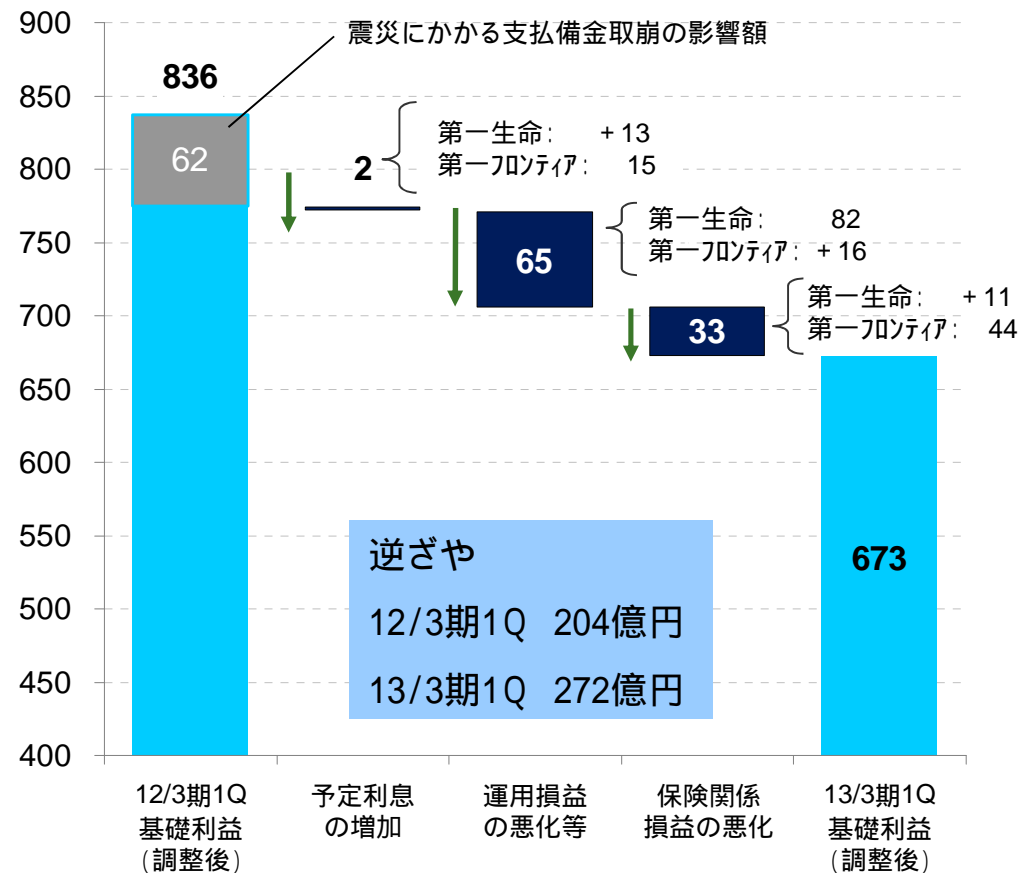
基礎利益⁽¹⁾

(億円)



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

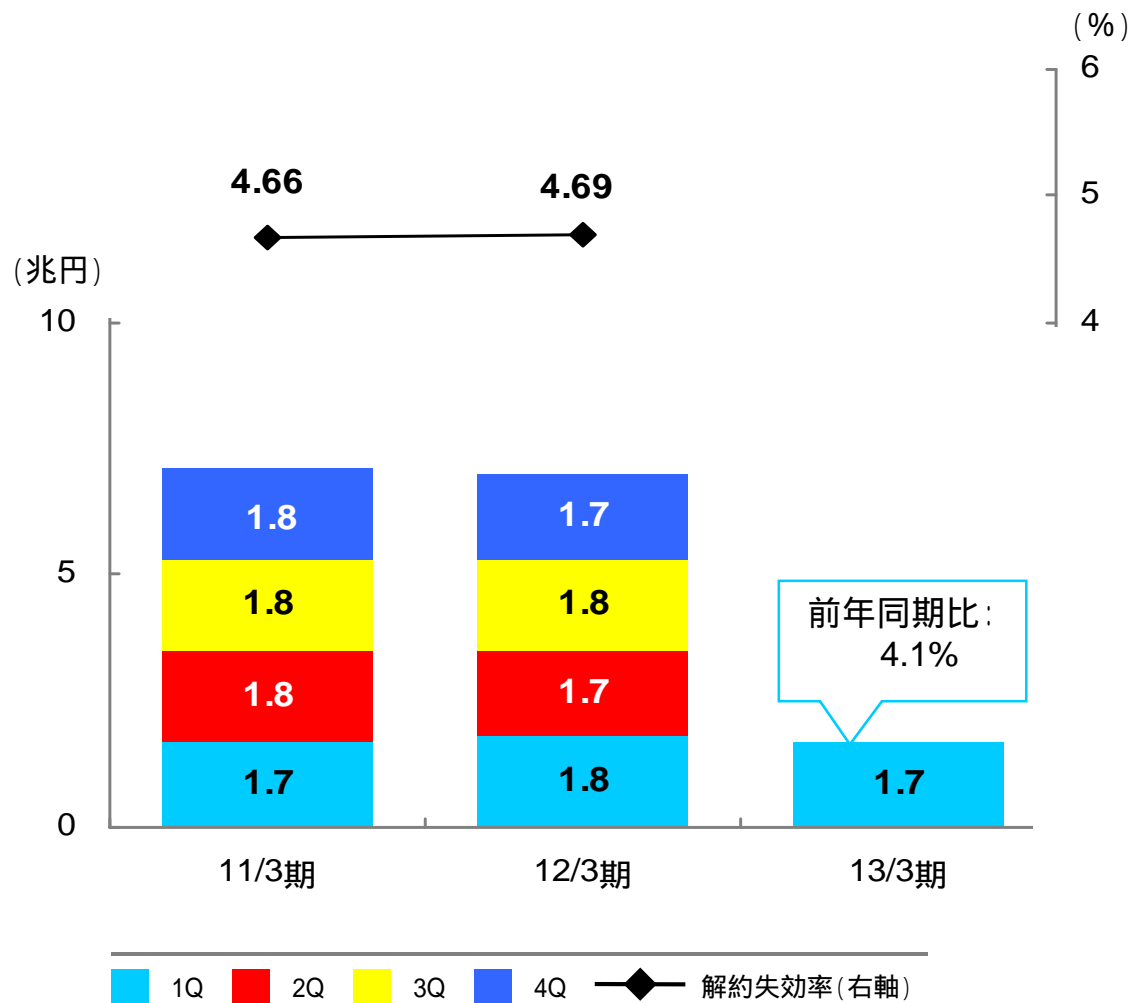


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
 (2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

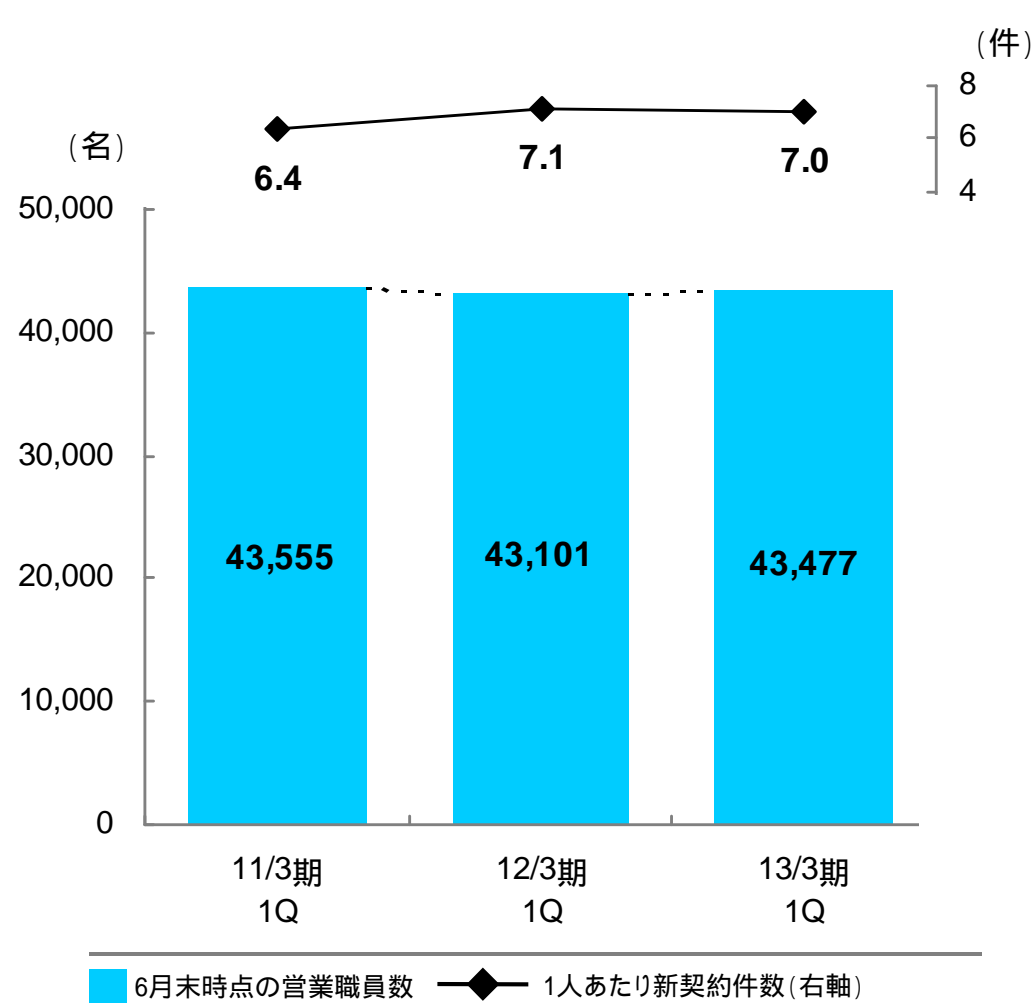
第一生命

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金保険)⁽¹⁾



営業職員数および生産性⁽¹⁾⁽²⁾

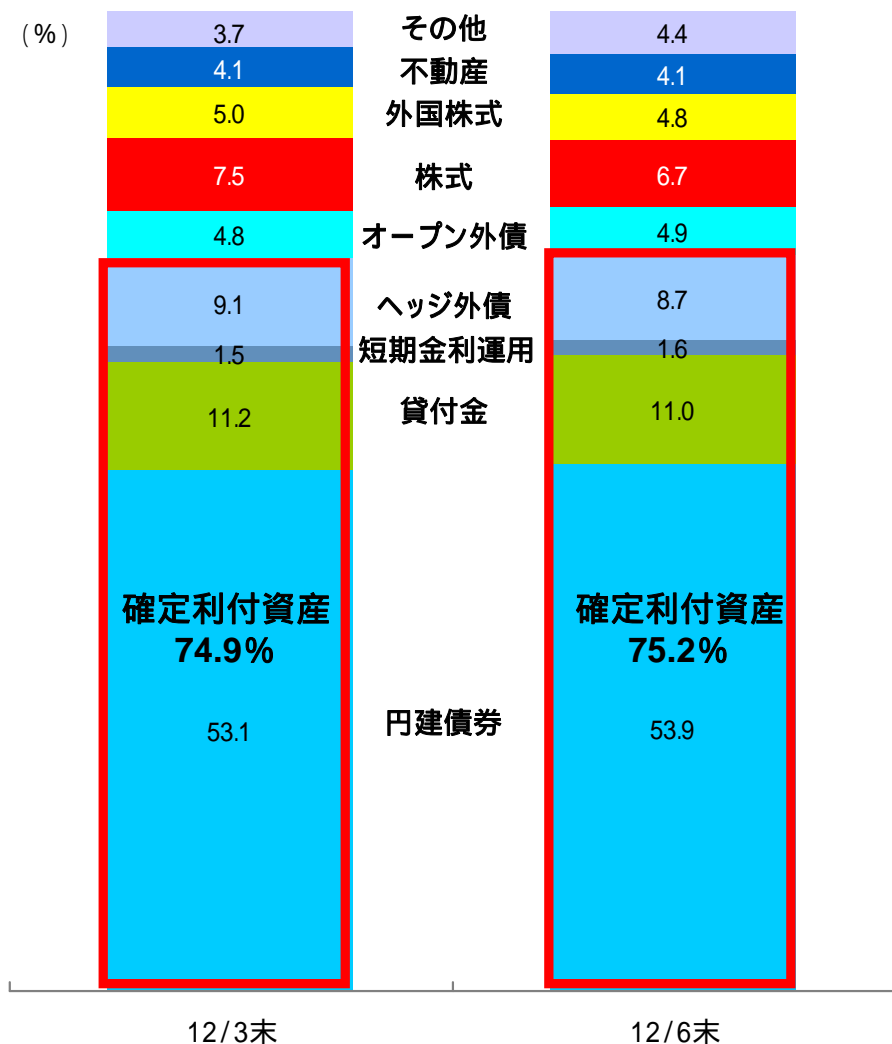


(1) 第一生命単体ベース

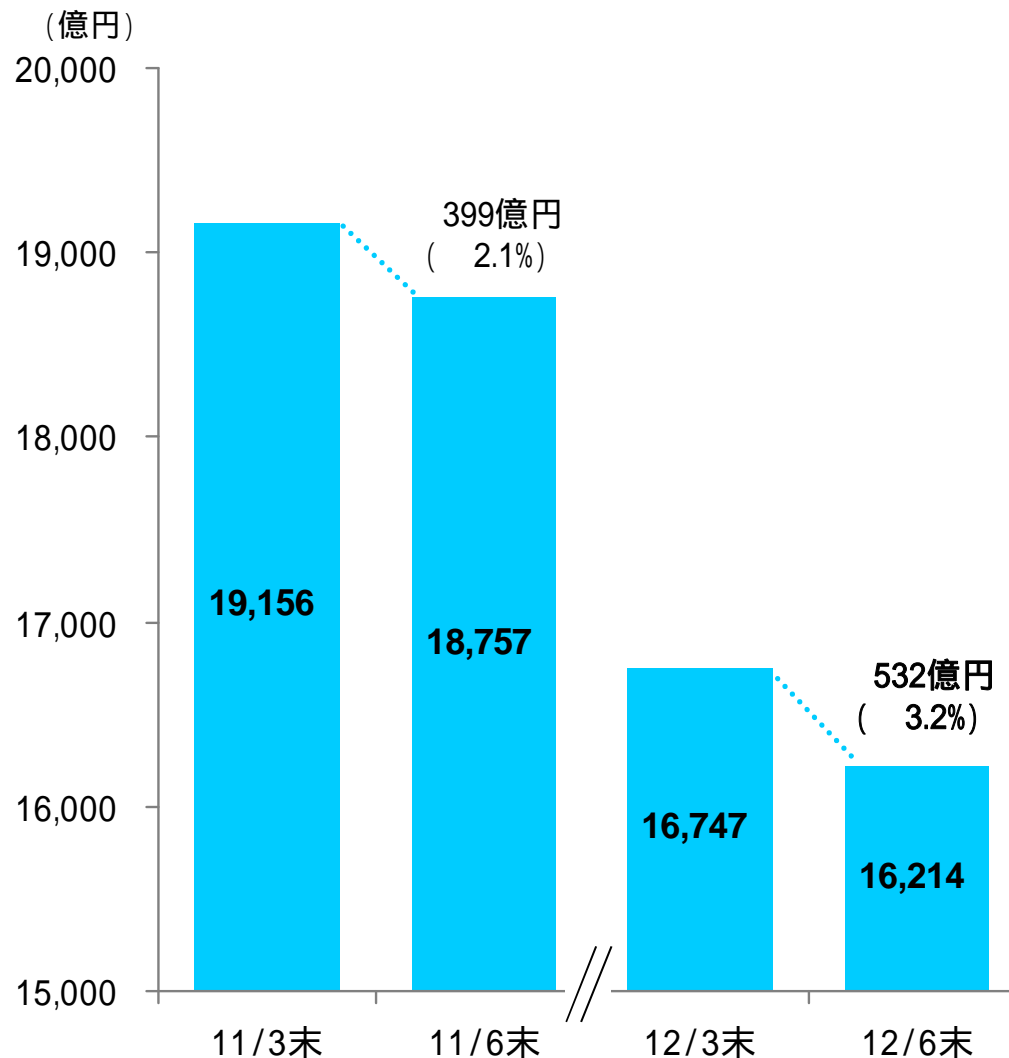
(2) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております

一般勘定資産の状況

資産の構成(一般勘定)(1)



国内株式の簿価(1)(2)



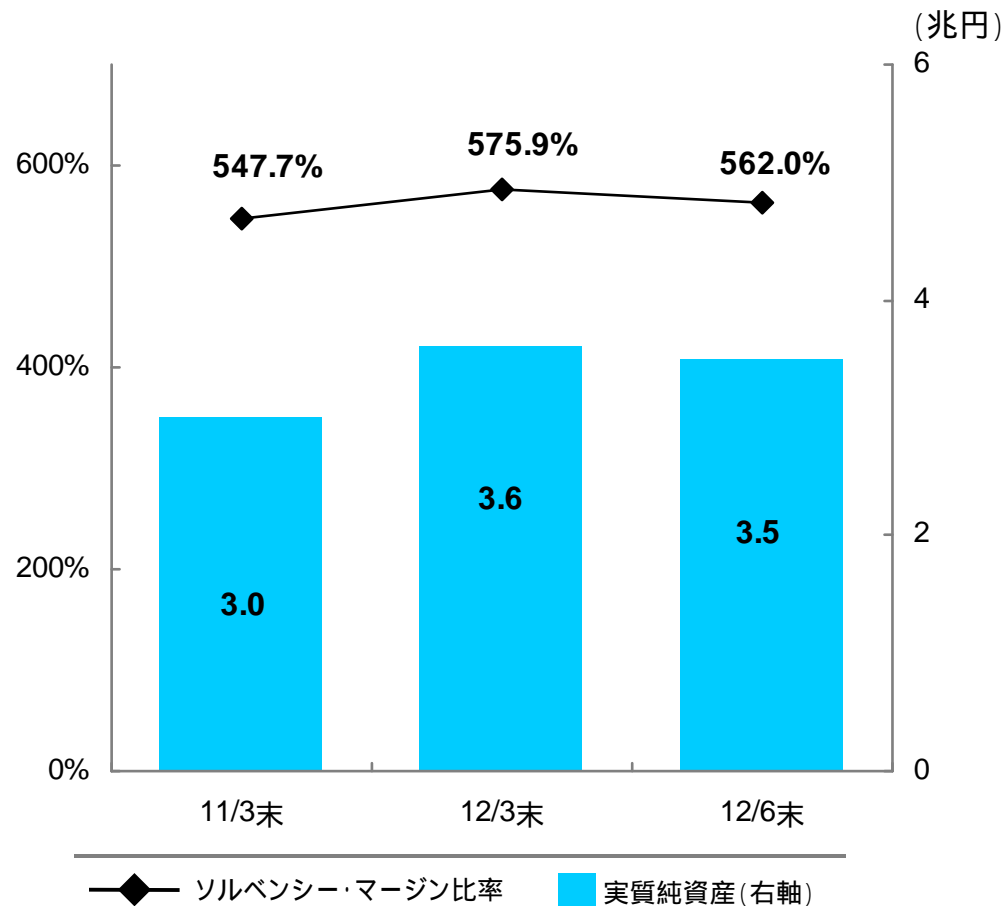
(1) 第一生命単体ベース
 (2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

含み損益(一般勘定)⁽¹⁾

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
有価証券	12,156	10,582	1,573
国内債券	7,906	9,252	+1,346
国内株式	2,978	908	2,069
外国証券	1,144	348	795
不動産	365	111	+254
その他共計	11,799	10,474	1,325

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額⁽¹⁾



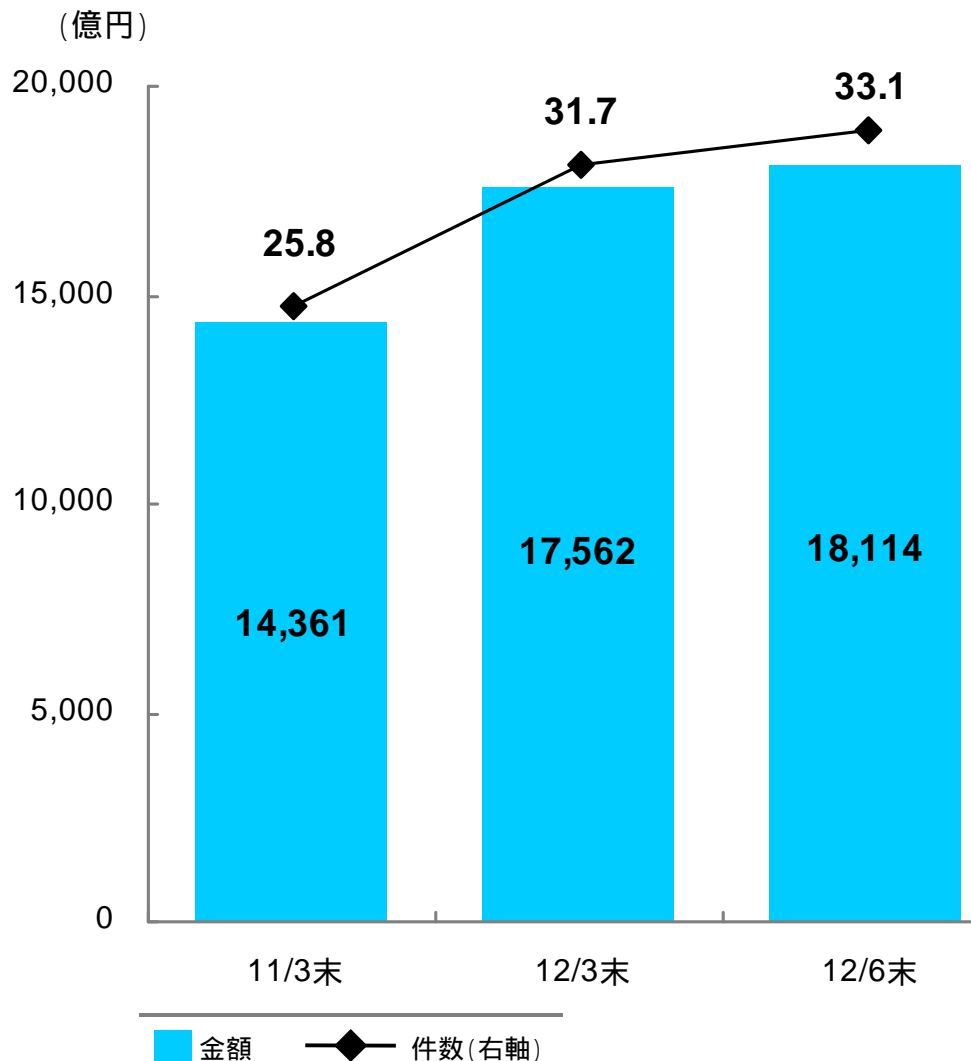
<参考> 2012年6月末 連結ソルベンシー・マージン比率: 544.8%

(1) 第一生命単体ベース

第一生命

第一フロンティア生命

保有契約高



収支の状況

	(億円)	
	12/3期 1Q	13/3期 1Q
経常収益	585	1,067
うち保険料等収入	543	909
うち変額商品	195	58
うち定額商品	238	740
うち資産運用収益	41	156
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	113
経常費用	667	1,223
うち責任準備金等繰入額	383	466
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(は戻入)(B)	55	266
うち危険準備金繰入額(C)	46	4
うち資産運用費用	23	451
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	19	-
経常利益(は損失)	81	156
当期純利益(は損失)	82	156
当期純利益 - (A) + (B) + (C) + (D)	40	0

【参考】

再保険収支

	12/3期 1Q	13/3期 1Q
再保険収入	109	109
再保険料	141	150
再保険収支	32	40

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額

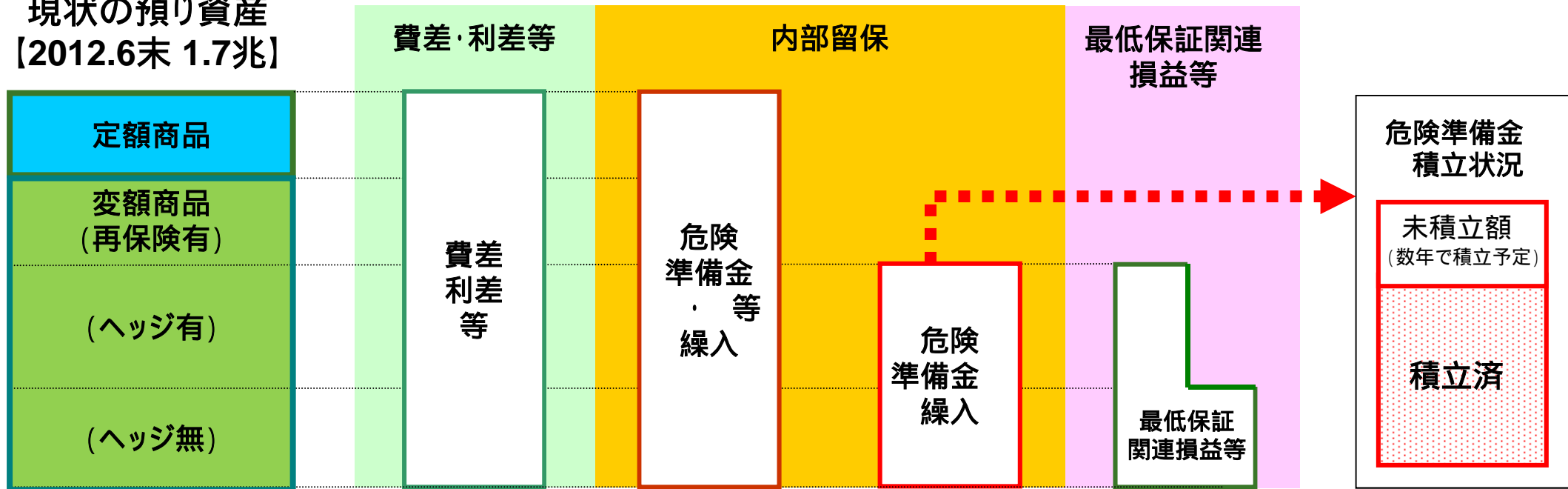
	12/3期 1Q	13/3期 1Q
繰入額(は繰入)	0	42

第一生命

第一フロンティア生命

- 費差・利差等 : 預り資産残高を積み増すことで費差・利差益等の基礎的収益が増加
- 内部留保 : 危険準備金 は今後数年で積立限度額に到達予定 以降会計利益は大きく改善
- 最低保証関連損益 : 金融環境が悪化した場合は最低保証に係る責任準備金の繰入等が発生(回復時には戻入となる)

現状の預り資産
【2012.6末 1.7兆】



2011年度 当期純利益	=	7億	+	52億	+	157億	+	82億
2012.1Q 当期純利益	=	6億	+	5億	+	-	+	157億

豪TAL収支の状況⁽¹⁾

(百万豪ドル)

	11/6期	12/6期	前年比
経常収益 ⁽²⁾	480	574	+ 20%
うち保険料等収入 ⁽²⁾	385	444	+ 15%
経常利益 ⁽²⁾	27	60	+ 121%
純利益(A) ⁽²⁾	15	42	+ 168%
修正額(B)	6	6	
うち負債割引率の変化	2	16	
うち償却負担	5	5	
その他	2	4	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	21	36	+ 64%

<参考>

	11/6末	12/6末
為替レート(豪ドル)	86.47円	79.65円

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

第一生命

2013年3月期業績予想(期初予想から変更なし)

- 短期的には内外金融市場の不透明感は払拭できないが、堅調な営業業績や、通期での運用収支の改善見込みを考慮し、業績予想は据え置き

(億円)

	12/3期	13/3期(予)	増減
経常収益	49,317	45,960	3,357
第一生命単体	43,982	39,880	4,102
第一フロンティア	4,148	4,430	+ 281
TAL (百万豪ドル)	2,041	2,090	+ 48
経常利益	2,259	1,380	879
第一生命単体	2,437	1,560	877
第一フロンティア	282	250	+ 32
TAL (百万豪ドル)	142	100	42
当期純利益	203	250	+ 46
第一生命単体	176	440	+ 263
第一フロンティア ⁽¹⁾	257	234	+ 23
TAL (百万豪ドル)	93	70	23
1株当たり配当金	1,600円	1,600円	±0円

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	3,024	2,700程度	324
------------------	-------	---------	-----

(1) 持分考慮後

第一生命

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(1)

■ グループEEVは厳しい金融環境の下においても前期末比約1,100億円減にとどまる

第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	26,615	約25,500	約 1,100
修正純資産	18,670	約18,100	約 600
保有契約価値	7,944	約7,400	約 500

第一生命(単体、試算値)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	27,150	約26,200	約 1,000
修正純資産	19,962	約19,500	約 500
保有契約価値	7,187	約6,700	約 500

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	1,222	約1,100	約 100
修正純資産	1,132	約1,100	約 100
保有契約価値	89	約100	約 0

(1) 2012年6月末の保有契約をベースとしています。

(2) 経済前提は2012年6月末、非経済前提は2012年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(2)

TAL(試算値)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	1,364	約1,300	約 0
修正純資産	687	約700	約 0
保有契約価値	676	約700	約 + 0

<参考> TAL(豪ドルベース、試算値)

(百万豪ドル)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	1,596	約1,700	約 + 100
修正純資産	805	約800	約 + 0
保有契約価値	791	約900	約 + 100

12/3末EEV:

12/3末の為替レート(1 豪ドル = 85.45円)を使用

12/6末EEV:

12/6末の為替レート(1 豪ドル = 79.65円)を使用

- (1) 2012年6月末の保有契約をベースとしています。
- (2) 経済前提は2012年6月末、非経済前提は2012年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

米国資産運用会社 ジャナスキャピタルグループへの 出資および業務提携について

第一生命

第一生命保険株式会社(以下「当社」または「第一生命」)は、米国の資産運用会社である
ジャナスキャピタルグループ(Janus Capital Group Inc. 以下「ジャナス社」)の株式の
15%以上(上限20%)を取得することについて合意し、同社と出資・業務提携契約を締結

【出資の概要】

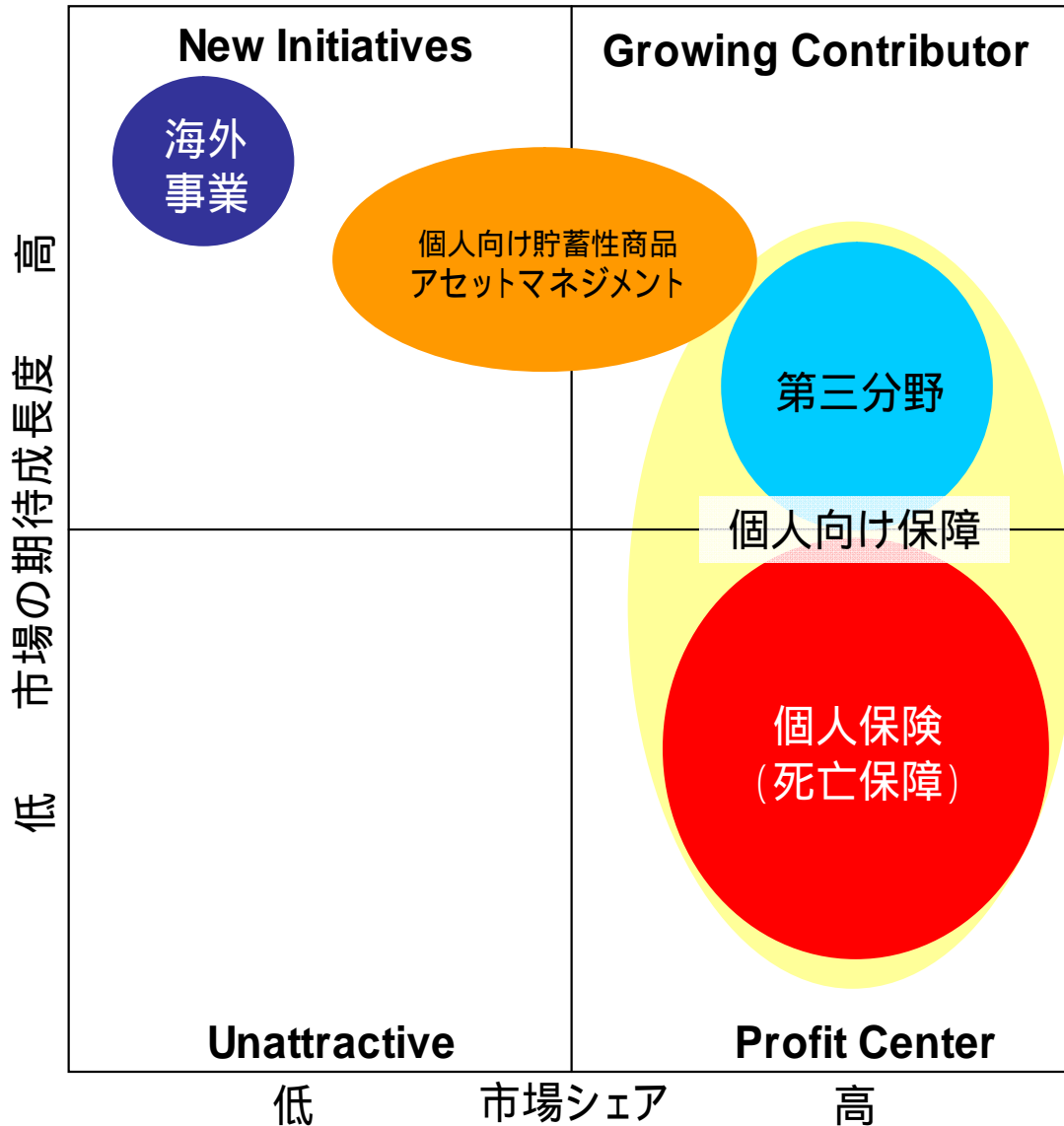
- 必要となる日米関係当局への届出等を前提として、原則1年以内にジャナス社株式の15%以上(上限20%)を取得
- 当社は新株予約権を取得しており、市場からの株式取得に加えて、新株予約権を行使することにより株式を取得することが可能
- 出資比率が15%以上に達した場合、取締役1名の派遣が可能となり、取締役派遣後に同社に持分法を適用する予定

【業務提携の概要】

- 以下の取組により、第一生命グループおよびジャナス社双方の企業価値向上を図る
 - ✓ 人財・ノウハウ交流(常駐リエゾン及びトレーニーの派遣・受入等)
 - ✓ 当社によるジャナス社への運用外部委託
 - ✓ DIAMを通じたジャナス社委託商品の日本販売
 - ✓ ジャナス社と共同でDIAMの米国ビジネスの拡大支援を検討

第一生命

- 中期経営計画において、国内生保事業(第三分野・貯蓄事業)、海外生保事業、アセットマネジメント事業を成長分野として位置付け。



国内生保事業

死亡保障市場

- 第一分野におけるシェア向上
- 事業費効率の改善

成長市場

- 第三分野
- 個人向け貯蓄性商品

海外生保事業

- アジア太平洋地域における展開

アセットマネジメント事業

- DIAMアセットマネジメントの預り資産の成長
- 国内外で成長の機会を追求

■ 内部成長のみならず、M&Aなど外部成長の機会を志向

第一生命

■ 第一生命グループおよびジャナス社双方の企業価値向上を目指す

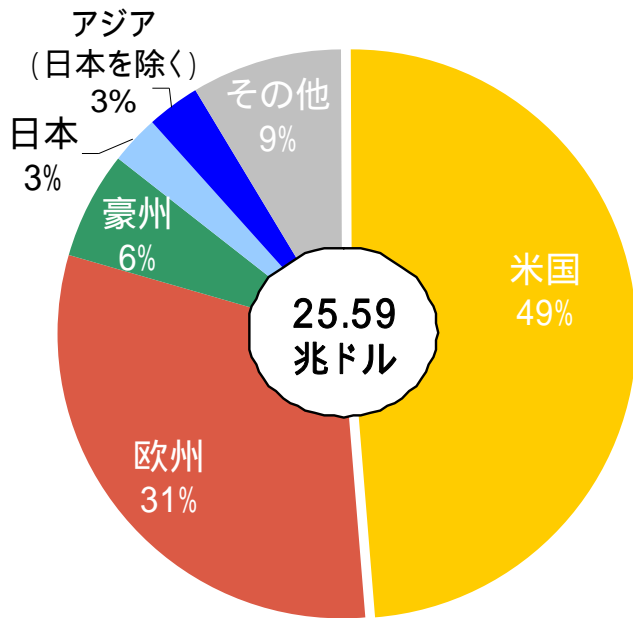
- ✓ 新たな成長ドライバー獲得による第一生命グループの収益力向上、グローバル展開加速
- ✓ ジャナス社の中長期戦略を後押しする提携メニューの実現による企業価値向上



第一生命

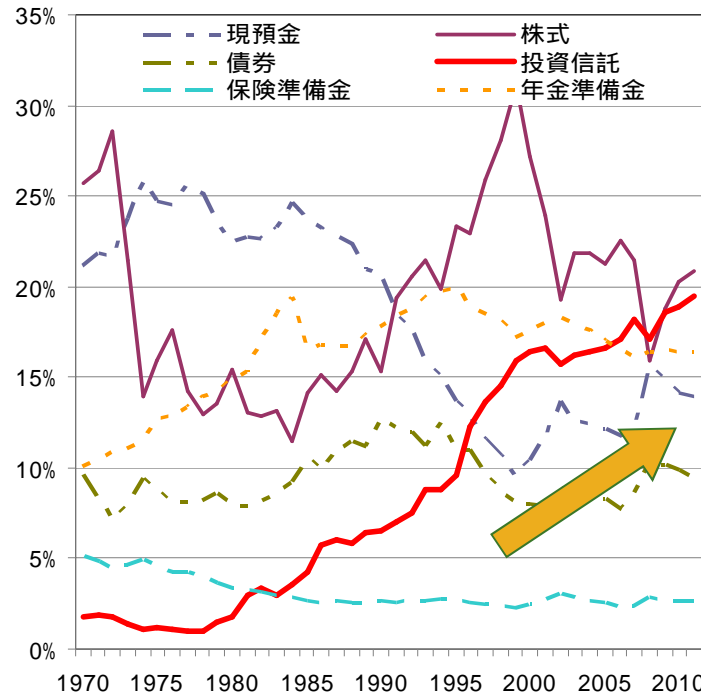
- 米国アセットマネジメント市場は、家計への投信普及が進んだ世界最大のマーケット
 - リタイアメント層からの資金流入や継続的な人口増加により、将来的にも高い成長性が期待
- ➡ ジャナス社への出資を通じて米国アセットマネジメント市場の成長性を享受

地域別投信残高構成比 (2012年3月)



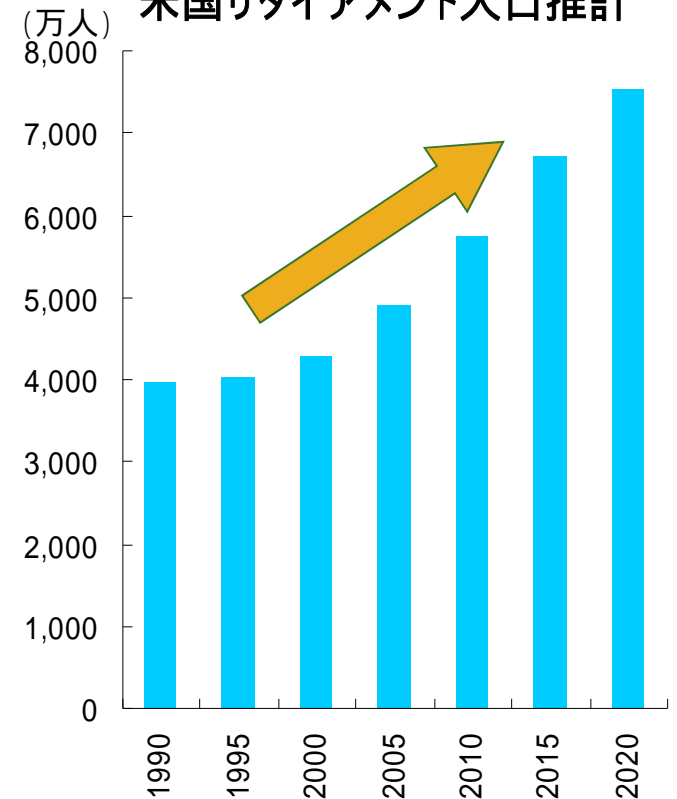
出所:ICI統計データより作成

米国家計金融資産 構成比率



出所:米国連邦準備制度理事会統計、野村資本市場研究所資料より作成

米国リタイアメント人口推計



出所:国際連合人口部 将来人口推計2010より作成

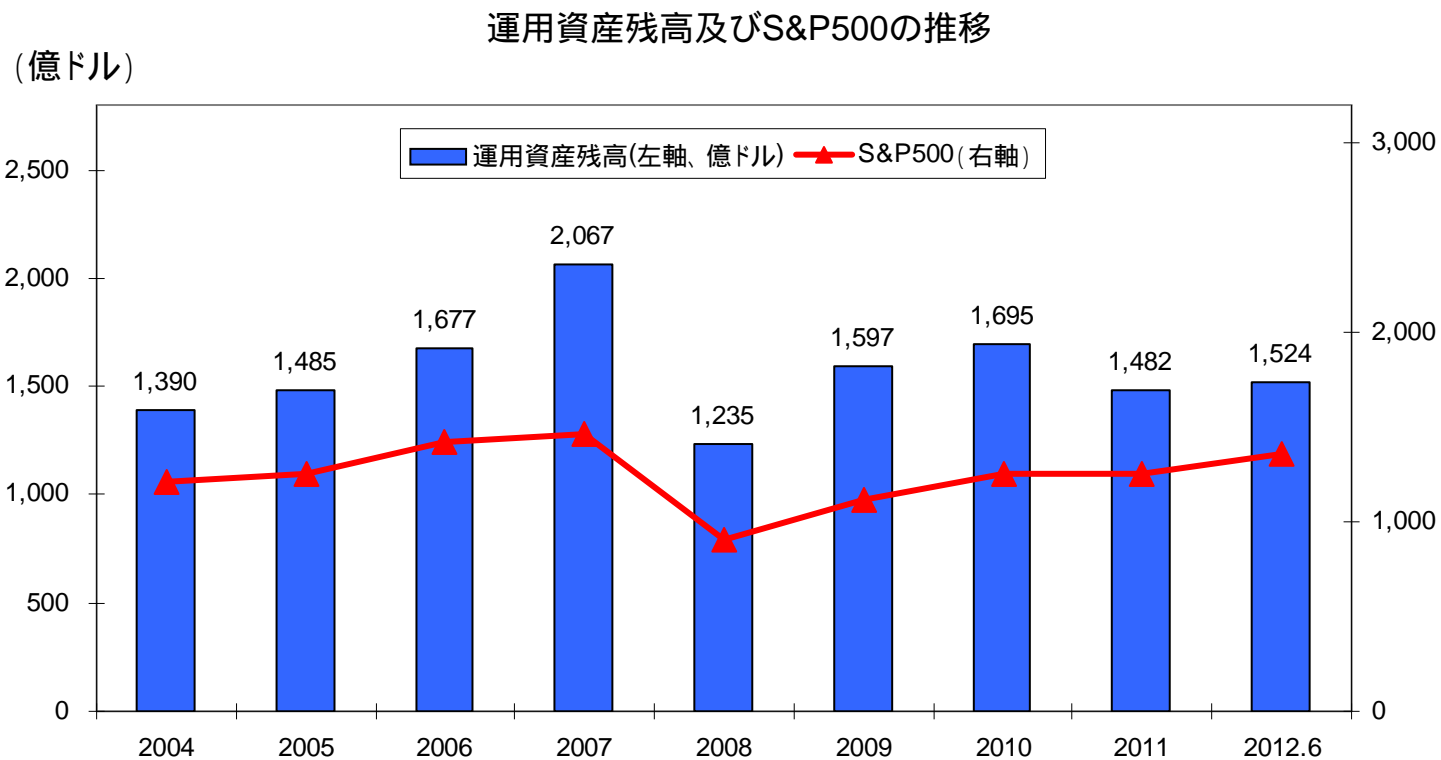
第一生命

- 1969年創業、コロラド州デンバーを本拠とする独立系上場運用会社
- 株式運用を中心に高い競争力とブランド力を有しており、傘下に運用スタイルの異なる運用会社3社を擁する
- 米国では運用資産残高で34位、投資信託分野で16位(2010年末)

会社名	Janus Capital Group Inc.
業務の内容	米国における資産運用事業
代表者	リチャード・ワイル(Richard Weil)
上場	2000年6月 ニューヨーク証券取引所上場
売上高	981.9百万米ドル(2011年12月期)
税引後利益	142.9百万米ドル(2011年12月期)
純資産	1349.1百万米ドル(2011年12月末)
運用資産額	1,524億米ドル(2012年6月末)
時価総額	1,059億円(2012年7月末)
本社	コロラド州デンバー
主な海外拠点	フランクフルト、ハーグ、香港、ロンドン、メルボルン、ミラノ、ミュンヘン、パリ、シンガポール 東京、チューリヒ

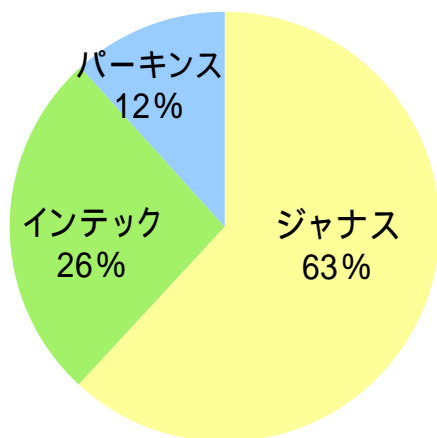
第一生命

運用資産残高推移

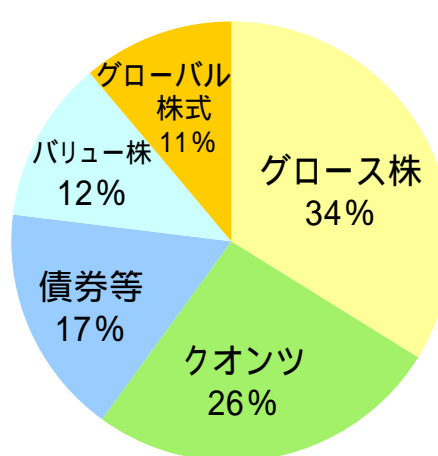


運用資産構成

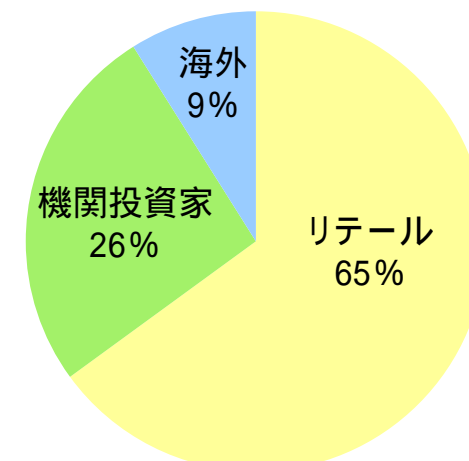
【ブランド別】 (2012.6時点)



【アセット別】 (2012.6時点)



【顧客別】 (2012.6時点)



出所: ジャナス社開示資料より作成

いちばん、人を考える会社になる。

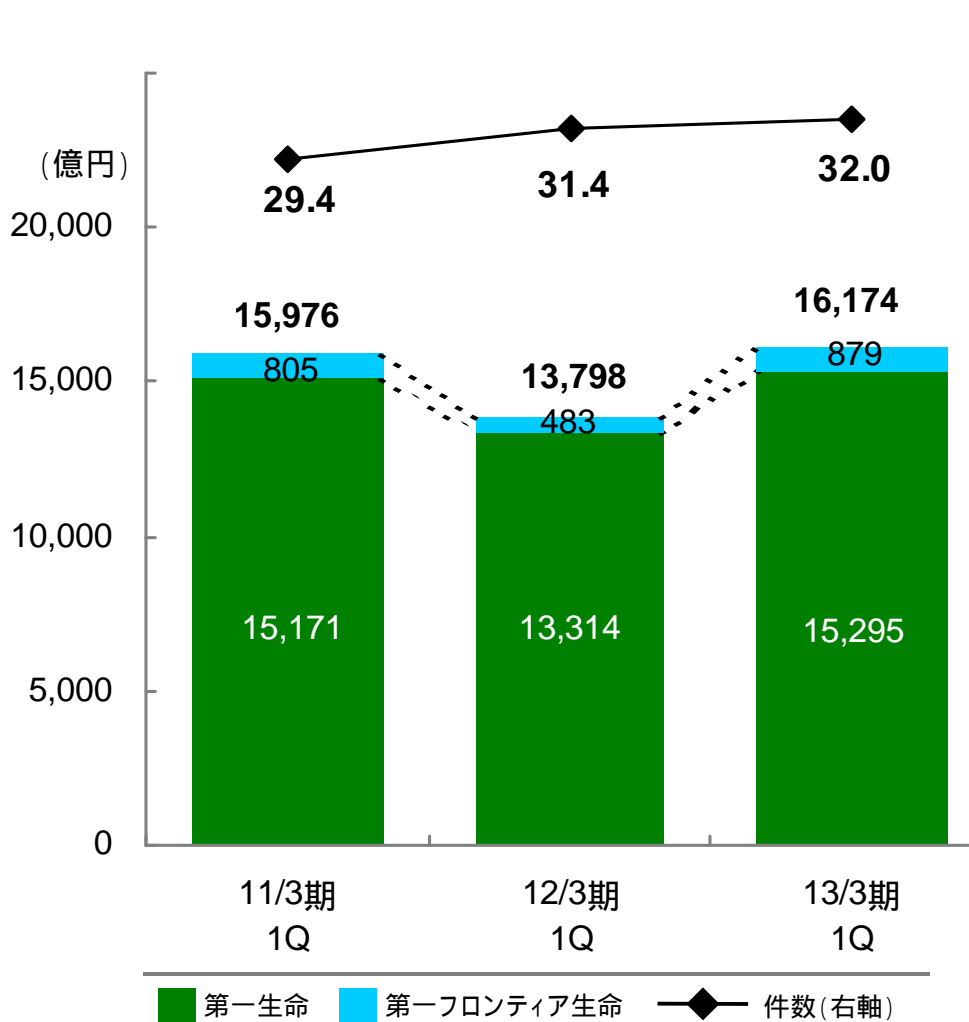
第一生命

参考データ

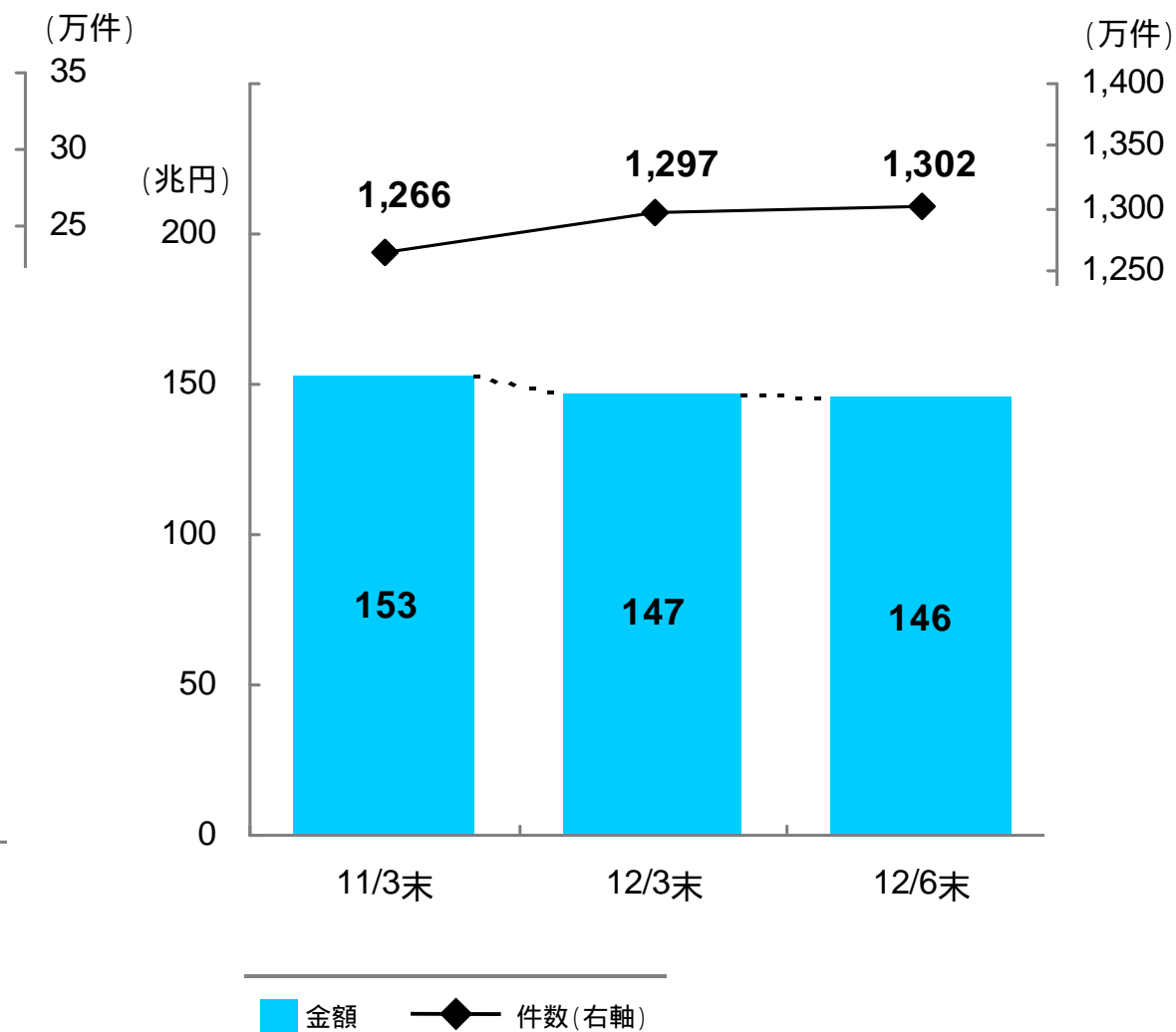
第一生命

新契約動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高⁽¹⁾



保有契約高⁽¹⁾

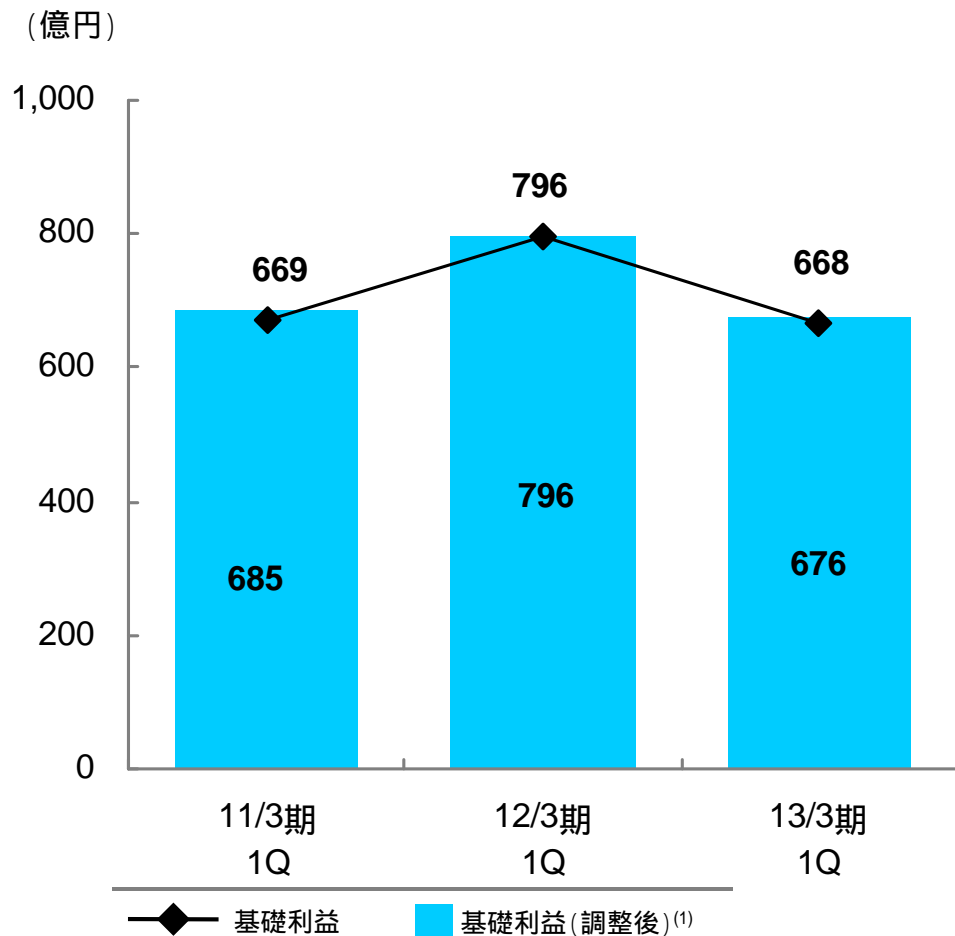


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

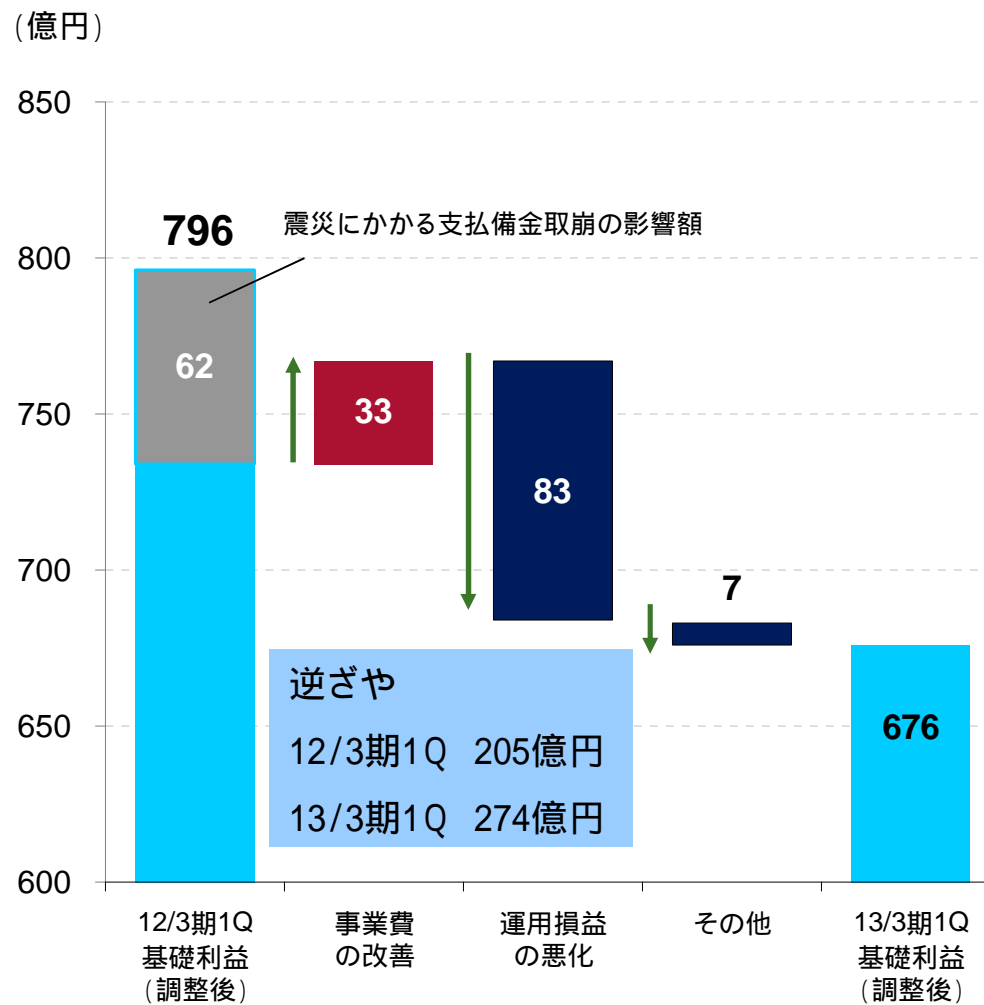
第一生命

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



基礎利益(調整後)の変動要因⁽¹⁾

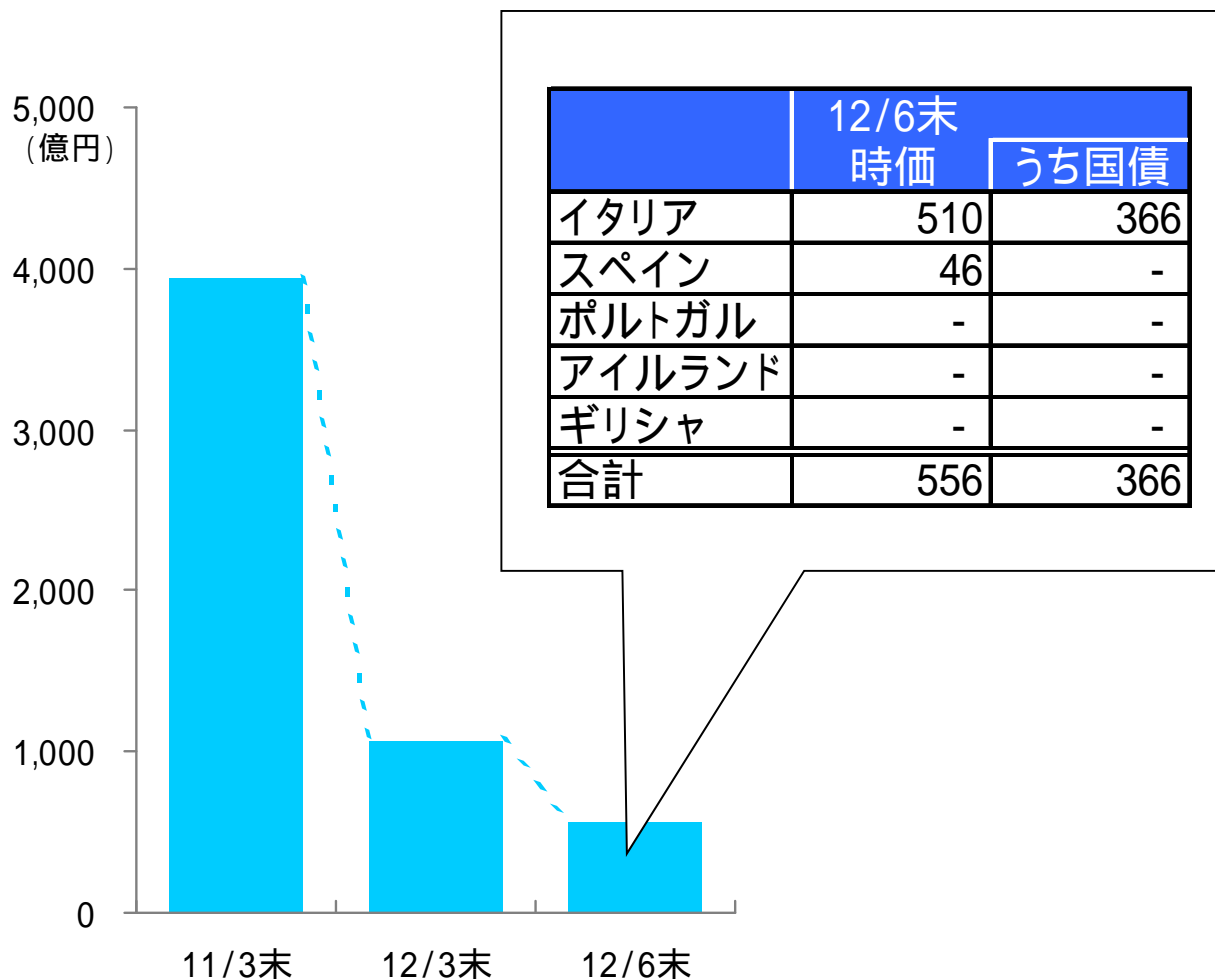


(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

第一生命

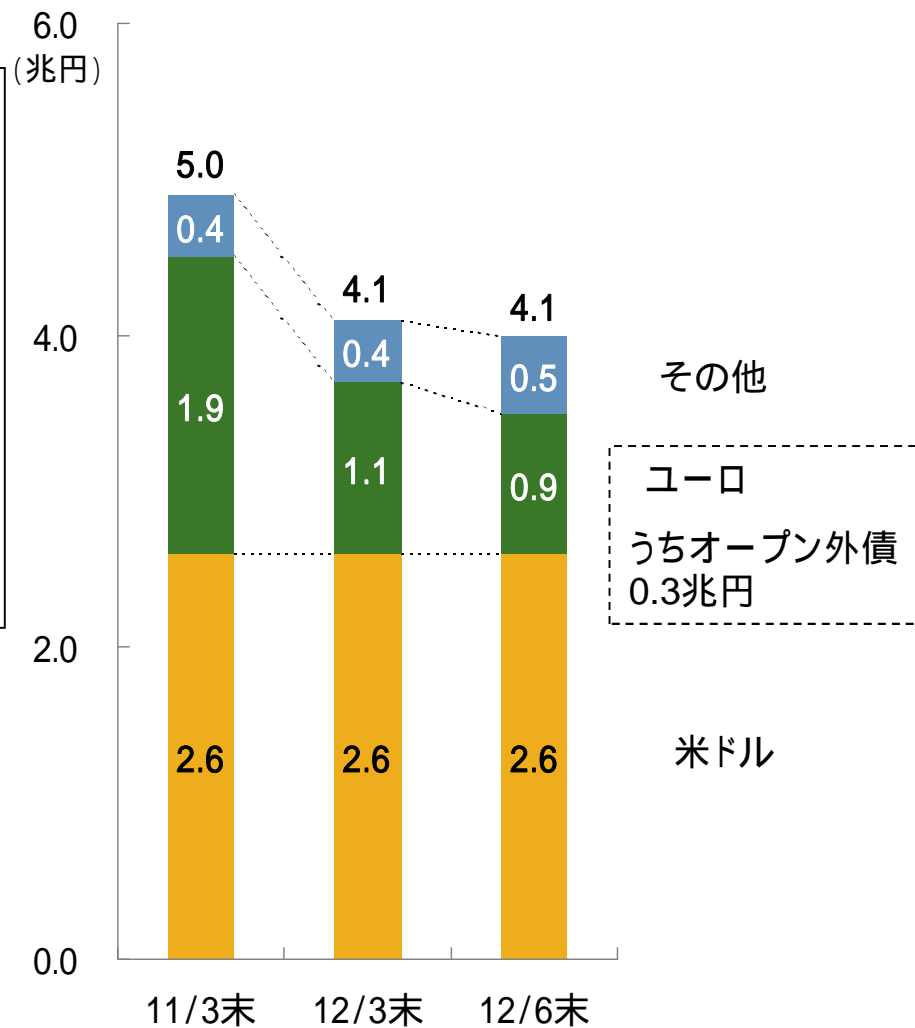
一般勘定資産のユーロ圏への投資状況

ユーロ圏一部諸国への投資額(時価ベース)⁽¹⁾



(1) 外部委託運用を除く
 (2) 貸借対照表価額(円建の外債を除く)

外債の通貨別残高⁽²⁾



第一生命

第一生命(単体)財務諸表

損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	10,509	10,689	+180
保険料等収入	7,448	7,639	+191
資産運用収益	2,224	2,399	+174
うち利息・配当金等収入	1,740	1,666	73
うち有価証券売却益	445	708	+262
うち金融派生商品収益	19	16	3
その他経常収益	836	650	185
経常費用	9,958	10,283	+324
うち保険金等支払金	6,096	6,320	+224
うち責任準備金等繰入額	1,227	649	577
うち資産運用費用	658	1,353	+694
うち有価証券売却損	142	127	15
うち有価証券評価損	204	494	+290
うち特別勘定資産運用損	54	496	+442
うち事業費	988	955	33
経常利益	551	406	144
特別利益	3	39	+35
特別損失	67	67	0
契約者配当準備金繰入額	189	177	11
税引前四半期純利益	297	200	97
法人税等合計	123	24	148
四半期純利益	173	225	+51

貸借対照表(要約)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	314,619	312,657	1,962
うち現預金・コール	4,992	5,344	+351
うち買入金銭債権	2,943	2,933	9
うち有価証券	253,334	250,195	3,138
うち貸付金	34,125	33,306	818
うち有形固定資産	12,541	12,339	202
うち繰延税金資産	2,826	3,648	+822
負債の部合計	304,335	303,994	341
うち保険契約準備金	285,299	285,775	+476
うち責任準備金	280,116	280,742	+626
うち危険準備金	4,230	4,275	+45
うち退職給付引当金	4,320	4,362	+42
うち価格変動準備金	744	779	+35
純資産の部合計	10,283	8,663	1,620
うち株主資本合計	6,103	5,955	148
うち評価・換算差額等合計	4,178	2,706	1,471
うちその他有価証券評価差額金	4,794	3,106	1,688
うち土地再評価差額金	616	396	+219

(1) 特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

第一生命

第一フロンティア生命財務諸表

損益計算書(要約)

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	585	1,067	+481
うち保険料等収入	543	909	+365
うち資産運用収益	41	156	+115
経常費用	667	1,223	+556
うち保険金等支払金	229	266	+36
うち責任準備金等繰入額	383	466	+83
うち資産運用費用	23	451	+427
うち事業費	28	36	+7
経常利益(は損失)	81	156	74
特別損益	0	0	0
税引前四半期純利益(は損失)	82	156	74
法人税等合計	0	0	0
四半期純利益(は損失)	82	156	74

貸借対照表(要約)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	18,606	18,893	+286
うち現預金・コール	232	202	29
うち有価証券	17,668	17,829	+160
負債の部合計	17,699	18,114	+414
うち保険契約準備金	17,498	17,964	+465
うち責任準備金	17,485	17,952	+466
うち危険準備金	571	576	+4
純資産の部合計	906	778	127
うち株主資本合計	867	710	156
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	982	1,139	156

第一生命

豪TAL財務諸表

損益計算書(要約)(1)(2)

(百万豪ドル)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	480	574	93
保険料等収入	385	444	59
資産運用収益	5	6	1
その他経常収益	89	122	33
経常費用	452	513	60
保険金等支払金	274	291	17
責任準備金等繰入額	35	69	34
資産運用費用	16	19	2
事業費	106	113	7
その他経常費用	20	19	1
経常利益	27	60	33
法人税等	11	18	6
四半期純利益	15	42	26
修正利益 (Underlying profit)	21	36	14

貸借対照表(要約)(1)(2)(3)

(百万豪ドル)

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	5,067	5,075	7
現預金・コール	378	382	3
有価証券	2,659	2,611	48
有形固定資産	2	2	0
無形固定資産	1,294	1,286	8
のれん	783	783	-
その他の無形固定資産	511	502	8
再保険貸	90	112	22
その他資産	641	679	38
負債の部合計	3,343	3,314	29
保険契約準備金	2,369	2,329	40
再保険借	215	226	11
その他負債	670	666	4
繰延税金負債	87	90	3
純資産の部合計	1,724	1,761	37
株主資本合計	1,724	1,761	37
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	93	130	37

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

(3) 2013年3月期第1四半期の開示より、当社の開示基準に準じて、繰延税金資産・負債を純額にて表示しております。

金融市場への感応度(2012年6月末、第一生命単体)

	感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,900億円の増減 (2012年3月末: 1,900億円)	日経平均株価 ¥8,100 (2012年3月末: ¥8,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,100億円の増減 (2012年3月末: 2,000億円)	10年国債利回り 1.3% (2012年3月末: 1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 230億円の増減 (2012年3月末: 220億円)	ドル/円 \$1 = ¥85 (2012年3月末: ¥84)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050 - 3780 - 6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。